

令和7年6月号

鹿浜こども園だより



令和7年6月1日
足立区立鹿浜こども園
第一園舎 Tel.3855-4447
足立区鹿浜 5-25-11
第二園舎 Tel.3897-8515
足立区鹿浜 5-24-4-101
園長 澤田 好

あこがれから

近年は、この時期でも好天に恵まれたときの日差しは、本格的な夏そのもの。ジリジリと音が聞こえてきそうです。子どもたちも汗をたくさんかくようになってきたので、しっかりと健康観察をして体調に気を配っていきたいと思います。

こども園には、たくさんの草花を用務職員が、子どもたちの遊びの環境の一つとして心を込めて種をまいたり、植え替えをしたりしています。先日、3歳児が第一園舎に来るとじーと見つめている姿がありました。その先には、5歳児が花びらを使って色水を作っていました。5歳児がその場を離れると、すかさず同じことを始めました。すり鉢に入れた花や葉っぱを一生懸命こすり、水を少しずつ入れてみてはコップに移し替える…。友達とは違った色に気づいたり、量に気づいたりする姿は、学びの瞬間そのものでした。

鹿浜こども園は二つの園舎に分かれています。子ども同士の交流を日常化しながら、子どもの育ちをつなげていきたいと思います。3歳児が体験したことは、第二園舎に持ち帰り、職員が環境を構成していきます。そうすることで、1、2歳児も3歳児の遊びから何かを感じたり、触れたりして経験が重なっていきます。

子どもたちが見ている世界を、今まで以上に保護者の皆様にも伝えてまいります。

園長 澤田 好

お知らせ

6月23日（月）より、4・5歳児はプールが始まります。詳しくは、後日配信されるお知らせをご覧ください。

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから
心豊かで たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」
を育てる

【行事予定】

6 月	
5 日（木）	避難訓練（水害）
9 日（月）	避難訓練 保育参観・参加（1・2・3歳児） ～6/13
11 日（水）	歯科健診（第二）10:00～ （第一）10:30～
12 日（木）	内科健診（第二）13:00～
16 日（月）	個人面談始～6/27
19 日（木）	内科健診（第一）13:00～
20 日（金）	安全指導 身体測定
23 日（月）	プール始め（4・5歳児）
25 日（水）	眼科健診（4・5歳児） 13:15～
26 日（木）	不審者対応訓練

7 月	
7 日（月）	避難訓練～7/11 七夕
15 日（火）	AED訓練
17 日（木）	安全指導 身体測定
18 日（金）	終業式（4・5歳児）
30 日（水）	夏季プール（4・5歳児） 避難訓練（朝）
31 日（木）	夏季プール（4・5歳児）

《定期健康診断》

・各科健診の際に園医に相談したいことがある方は、事前に担任までお知らせください。

・健診の日は、できる限り休まないようにお願いします。

《個人面談》6月16日（月）～6月27日（金）

お子さんのご家庭での様子をお聞きしたり、こども園での様子をお知らせしたりしながら、お子さんの成長やこれから大切にしたいことなどについてご家庭と一緒に考えたいと思います。面談希望日は、後日配信されるアンケートにてご回答をお願いします。



ADACHI CITY



〈ひよこ組〉

園庭遊びが大好きで、毎日沢山遊んでいます。行動範囲が段々と広くなり、園庭では、滑り台を滑ったり、ジャングルジムや太鼓橋に挑戦したりする姿があります。

なかよし小道に咲いている、たんぽぽや、ムラサキカタバミを見つけて保育者と一緒に摘みました。手に持ってみたり、ペットボトルの中に入れたりすると「かわいい〜」とにこにこの笑顔を見せてくれました。

子どもたちの表情が豊かになり、保育者に面白かったことや、楽しいことを満面の笑みで教えてくれます。



ねらい

- ・保育者に見守られながら、興味のある遊びや好きな遊びが楽しめるようにしていきます。
- ・気候や気温の変化に配慮して、水分補給を行ったり、衣類の調節をしたりして元気に過ごせるようにしていきます。

〈りす組〉

気温が高くなる日が増えてきて、園庭で水遊びを楽しんでいます。砂場のおもちゃ入れからバケツやペットボトルを自分で水道に持ってきて水を汲んでいます。バケツに手や足を入れて「つめたいね。気持ちいいね」と友達と水の感触や温度を感じていたり、バケツに入れた水を地面に流して水が流れる様子や砂と混じる様子を面白がったりしています。

一人一人の興味や関心に寄り添いながら、子どもの表現する世界と一緒に楽しんでいます。



ねらい

- ・保育者に様々な思いを受け止めてもらう中で、安心して自分の思いを表せるようにしていきます。
- ・簡単な身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切にしていきます。

〈うさぎ組〉

ある日のこと。「第一園舎に行こう」と話していると、子どもたちが黙々と準備を始めました。「これ持ってくる」とリュックを背負っていました。一人が背負うと、友達も同じように持ってきて、何も入っていないリュックを嬉しそうに持ち出かけてきました。その日から、室内でも同じように背負い遠足気分です。廊下や他のクラスを見に行ったり、動物園に行くためのチケットを作ったり、遠足ごっこを楽しんでいます。

様々なできごとを体験したり、イメージしたりしたことを言葉や動きで表現する姿を大切にしていきます。



リュック持っていく。
準備オッケー！

動物園にはチケットが必要かも、と言いチケット作りもしていました。



ねらい

- ・感じたことや考えたこと、イメージしたことを、言葉や動きなどで表現することを楽しんでいます。
- ・身の回りのことをしようとする意欲を認め、自信に繋がるようにしていきます。

〈ぱんだ・こあら組〉

登園すると一目散で好きな場所へ向かう子どもたち。園庭では泥を使って全身泥まみれになるほどあそび、室内では大型積み木を使ってお家ごっこを楽しんでいます。その中で、友だちとの想いのぶつかり合いがあり、手が出たり強い口調で話したりなどの姿が増えてきました。まだ自分の想いを整理して言葉で伝えることが難しいため、保育者が仲立ちをして想いを伝え合っています。

友だちと一緒に遊んだり生活をしたりしていく中で、言葉での想いのやり取りを重ねていきます。



泥の感触が気持ちいい！

みんなで話したり、一人ひとり片足を合わせて“鬼決め”をしったりして氷鬼ごっこがスタート！



ねらい

- ・友だちと生活していく中で、自分の思いを伝えたり相手の想いを聴いたりしていきます。
- ・鬼ごっこやごっこ遊びなど様々な集団遊びを通して、身体を育て自信をつけていきます。

〈ぞう・きりん組〉

スライムはどうしたらできるのかを友達同士で考え、すぐにのりと水が準備されました。作っていく中で砂を入れたり絵の具を入れたり試行錯誤が始まります。思うようにならなかったときには、首をかしげる姿も見られ、自分たちで考え、試していくことをこれからも大切にしていき、子どもたちの探求心や思考力に繋げていきます。

ずっと楽しみにしていた、市川市動植物園へのバス遠足がありました。当日は動物を見たり鳴き声を聞いたり、ふれあったりして、「フワフワするね！」「どこを見ているのかな？」と、友達や保育者と、発見したことや面白いと思ったところを共有してきました。次の日からは、生き物への興味や関心も広がりました。



「本物のアルパカだ！」「モフモフだね！」

「あ！スライムできた！」「ぶにぶにして気持ちいいね！」



ねらい

- ・遊んでいる中で、子どもたち自身が考えて、試してみる楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・植物や飼育物の世話を通して、身近な自然に興味や関心をもてるようにしていきます。

〈かぜのじかん〉

園庭ではいろいろな虫がみられるようになりました。年上の子が虫を見つけ下の子に教えたり、一緒に虫を観察したりしています。子どもたちは虫の特徴に気づき、観察する楽しさを感じているようです。お部屋では、5歳児がラーメン屋さんやクレーンゲーム屋さんを開き、4歳児が招待され嬉しそうに参加しています。

異年齢での関りの中で優しく教えたり、真似したりしながら遊ぶ姿を大切にしていきたいです。



ナメクジを発見！『触るとかぶれちゃう？』など年上の子に質問しています。

ねらい

- ・異年齢の友達と関わりながら、共に発見したり楽しんだりする中で、思いやる気持ちを深めていきます。